

教員名	粕川 正充 (KASUKAWA Masaatsu)
所 属	理学部情報科学科
学 位	博士 (理学) (1993 東京工業大学)
職 名	助教授
URL/E-mail	<a href="http://www.is.ocha.ac.jp/~kasukawa/">http://www.is.ocha.ac.jp/~kasukawa/</a> / <a href="mailto:kasukawa@is.ocha.ac.jp">kasukawa@is.ocha.ac.jp</a>

## ◆研究キーワード

ユーザインタフェース / コンピュータアーキテクチャ

## ◆主要業績

総数 (1) 件

・「ステガノグラフィや電子透かしの手法を利用した画像ファイルへの情報の埋め込みとその利用法について」  
第 47 回プログラミングシンポジウムポスター発表

## ◆研究内容

人間を中心としたコンピュータと人間の共棲を目指す。

現在のコンピュータのありかたは酷くいびつである。コンピュータをありうるべき姿で捉えなおし、人間にとって自然なパートナーであるように研究をしている。

また、暗号や乱数、アーキテクチャなどについても研究を行っている。

## ◆教育内容

学部講義としてコンピュータアーキテクチャ I、情報倫理、基礎ゼミなどを担当した。

コンピュータアーキテクチャ I はコンピュータのハードウェア面を主として、後期のコンピュータアーキテクチャ II の内容のオペレーティングシステムへの橋渡しを行った。

情報倫理はコンピュータセキュリティを管理者の立場で学ばせた。異常事態はなぜ発生するのか、また対策はどのように行うのか、再発防止はどうすればよいのか、また各段階で発生するコストはどの程度になるのかななどを講義し、レポートを課した。

基礎ゼミは他学科 1 年生向けの情報科学科ではどのような内容を学ぶのかを紹介する講義であり、授業時間の最初の 30 分は情報関係の様々なトピックを解説し、残り 1 時間で電子回路の市販キットや PIC-BASIC 基板の組み立てやプログラムの作成を行い、最後にレポートを課した。

## ◆Research Pursuits

---

Toward the Symbiosis of man and Computer, I study the interfaces between human and computer.

The development of computers stepped into the crooked way.

I hope to justify the way to the right one.

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

一昨年から継続している研究として、手書き文の作成と手書きのメール送信プログラム、手書きメールの受信再生プログラムを完成させるための目途がようやく立ったので、これを完成させて、発表する予定である。

また、今年行った「Wavelet 変換を応用した画像への情報の記録と取り出し」は意図した機能を十分に発揮しなかったため、もう少し内容を吟味してよりよいものとしたい。

また今年、修士希望の学生が来たので、一年で基礎を教え、来年度以降、この学生の持っている音楽との連携のアイデアを実現させたいと思う。